

平成 25 年 5 月 16 日

## 診療所向け電子カルテサービス「Biz ひかりクラウド Future Clinic 21 ワープ」 の提供開始について

- 東日本電信電話株式会社（東京都新宿区、代表取締役社長：山村雅之、以下「NTT 東日本」）は、診療所向け電子カルテサービス「Biz ひかりクラウド Future Clinic 21 ワープ」（以下「本サービス」）を平成 25 年 7 月 1 日（月）より提供開始します。
- 本サービスはペンを用いたアイコン操作と手書き入力による簡単操作で利用できる電子カルテサービスです。また、電子カルテ情報はネットワークを介してデータセンターに設置したクラウドサーバーにバックアップとして保管されるため、災害時等の BCP として利用できます。
- 本サービスはサーバーのハードウェアおよび電子カルテアプリケーションソフトを購入する必要がないため、初期導入費用が抑えられ、電子カルテを手軽に導入することができます。

### 1. 背景

今日、我が国の医療分野において、医療の質の向上及び持続的な医療の提供の両立のため、患者の治療を病院・診療所間で一体的に行う地域医療連携が重要になっており、その実現に向けた取り組みの一つとして、紙カルテを電子カルテ化することが必要となっています。しかしながら、電子カルテを導入する医療機関は、大規模病院（400 床以上）において 69.6%<sup>※1</sup> に達する一方で、診療所においては「操作性」や「導入コスト」が障壁となり 23.8%<sup>※1</sup> と未だ大規模病院に比べて低いのが現状です。

NTT 東日本は課題となっている「操作性」と「導入コスト」に注目し、簡単かつスピーディに操作でき、初期導入コストを抑えて手軽に導入しやすい診療所向け電子カルテサービスを提供することにより、電子カルテ化の促進に貢献したいと考えております。

なお、本サービスに関する活用業務の実施について、本日、総務大臣に届け出ております。

※1 出展：2013 年版 電子カルテの市場動向調査（株）シード・プランニング

### 2. サービスの概要

本サービスは、ペンを用いたアイコン操作と手書き入力により簡単操作で利用できる電子カルテサービス<sup>※2</sup>です。データセンターで電子カルテのバックアップデータを保管するため、災害時などの BCP として利用できます。また、常に最新のアプリケーションソフトをネットワーク経由で提供しお客様側でアプリケーションソフトやサーバーのハードウェアを別途購入する必要がないため、初期費用が抑えられます。設定や操作方法等がわからない場合も専用のヘルプデスクにてお客様をサポートするため安心してご利用いただけます。（【別紙】診療所向け電子カルテサービス「Biz ひかりクラウド Future Clinic 21 ワープ」の概要参照）

※2 本サービスのアプリケーションソフトは、日本大学医学部根東義明教授（東北大学名誉教授）が発案されたものを NTT 東日本が製品化したものです。

(1) サービス名称

Biz ひかりクラウド Future Clinic 21 ワープ(略称:FG21 ワープ)

(2) 提供エリア

全国

(3) サービス提供内容<sup>※3</sup>

- ・電子カルテアプリケーションソフト
- ・バージョンアップ・マスターデータ更新
- ・ヘルプデスク(リモートサポート・電話対応)

※3 診療所に設置する接続回線、ルーター、クライアント端末(PCやタブレット等)、データ保存装置等が別途必要となります。

(4) 提供料金等

初期費用 <sup>※4</sup>	契約料	800 円(税込 840 円)
	工事費	2,000 円(税込 2,100 円)
月額料金	基本利用料	19,000 円(税込 19,950 円) (端末 1 台利用時)
	追加 IP アドレス利用料	3,000 円(税込 3,150 円) (端末 1 台追加利用時 <sup>※5</sup> )

※4 平成 25 年 9 月 30 日(月)までにお申し込みの場合、初期費用(契約料および工事費)は無料となります。

※5 最大追加 19 台まで。

(5) 提供開始日

平成 25 年 7 月 1 日(月)より

西日本エリア<sup>※6</sup>については、8 月以降提供開始予定

※6 富山県、岐阜県、静岡県以西の 30 府県を指します。

### 3. 主な特長

(1) 簡単な入力

ペンを用いたアイコン操作と手書き入力によって紙カルテに記述するように簡単に記録できます。画像の貼り付けや画像への書込み、予め登録した薬剤のセットを処方する際もペーン一本で操作できます。

(2) クラウドサーバーを活用したデータ管理

診療情報をネットワークを介してデータセンターでバックアップするため、万が一に備えることができ、災害時等の BCP 策定や危機管理を強化します。

(3) 見やすい診療履歴一覧(タイムライン機能)

診療記録を時間軸上に一覧表示することで、患者の臨床経過を視覚化することができます。時間幅を自在に操ることができ、必要な情報を一目で参照できるので臨床経過の全体像の把握や、詳細な診療記録や治療方針をスムーズに確認でき、今後の治療を計画する際に役立ちます。

(4) 日医標準レセプトソフト(ORCA)<sup>※7</sup>等外部システムとの連携機能

日医標準レセプトソフト(ORCA)との連携機能を標準搭載し、入力した患者基本情報や電子カルテで入力した診療情報を相互に連携することにより、事務処理等の業務が効率的に行えます。また、予約システムや画像ファイリングシステムなど他のシステムとの柔軟な連携も可能です。

※7 日医標準レセプトソフト(ORCA)とは日本医師会が開発し、推進する医事会計ソフトウェアのことです。

#### 4. 今後の展開

NTT 東日本では、本サービスの拡販を通じて診療所の電子化促進に貢献するとともに、昨年 7 月に提供開始した「光タイムライン」診療情報連携システムの推進により地域医療連携の普及に寄与していきたいと考えております。また、本サービスは、国内最大級の保健医療福祉分野の展示会「国際モダンホスピタルショー 2013」(2013 年 7 月 17 日～19 日)に出展する予定です。

#### 5. お問い合わせ先

東日本電信電話株式会社 ビジネス&オフィス事業推進本部  
ビジネス営業部 医療・ヘルスケア事業推進室

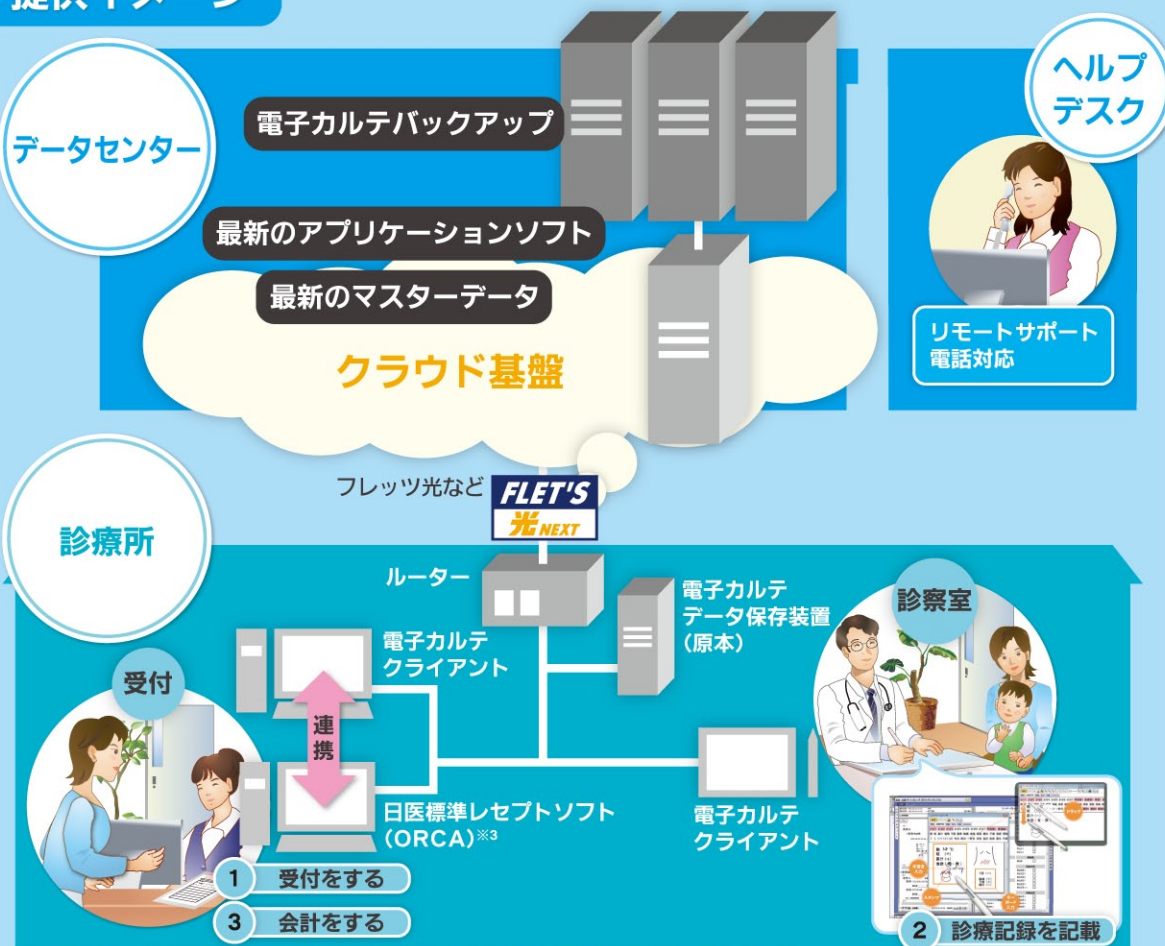
URL : <http://www.ntt-east.co.jp/business/solution/fc21/>

【別紙】 診療所向け電子カルテサービス「Biz ひかりクラウド Future Clinic 21 ワープ」の概要

# 診療所向け電子カルテサービス「Biz ひかりクラウド Future Clinic21ワープ」の概要

- ペンを用いたアイコン操作と手書き入力による簡単操作で利用できる診療所向けの電子カルテ
- 電子カルテのバックアップデータはデータセンター保管するため、災害時のBCPとして利用可能
- サーバーのハードウェアおよび電子カルテアプリケーションソフトの購入が必要ないので、初期導入費用を抑えて手軽に導入

## 提供イメージ



※3 日医標準レセプトソフト (ORCA)とは日本医師会が開発し、推進する医事会計ソフトウェアのことです。

## 提供料金・サービス内容

●初期費用	
契約料	800円 (税込 840円)
工事料	2,000円 (税込 2,100円)
●月額費用	
基本利用料※1	19,000円 (税込 19,950円)
追加IPアドレス利用料※2	3,000円 (税込 3,150円)

### ●サービス内容

- ・電子カルテアプリケーションソフト
- ・バージョンアップ・マスターデータ更新
- ・ヘルプデスク (リモートサポート・電話対応)

\*診療所に設置する接続回線、ルーター、クライアント端末 (PC、タブレット等)、データ保存装置等が別途必要となります。

※1 端末1台利用時 ※2 端末1台追加利用時 (最大追加19台まで)

## 主な機能

### 簡単な診療情報の入力操作

- タブレット端末の利用によるペンを用いたアイコン操作や手書き記入で簡単にカルテが作成可能

### データセンターでの電子カルテデータのバックアップとアプリケーションソフトの一元管理

- データセンターで電子カルテのバックアップデータを保管しているため、災害時などに利用可能 (BCP)。また、常に最新のアプリケーションソフトや最新のマスターデータの提供が可能。

### 見やすい診療履歴 (タイムライン機能)

- 診療情報を時間上に一覧表示して、患者の臨床経過を視覚化することで、患者の治療計画に寄与。